

ソロモン諸島

主要データ

国名〔英名〕	ソロモン諸島〔Solomon Islands〕
面積 (km ²)	28,896
海岸線延長 (km)	5,313
人口 (人)	647,581
人口密度 (人/km ²)	22.4
GDP (十億 US\$)	1.27
一人当り GDP (US\$)	1,965.78
主要鉱産物：鉱石	金
主要鉱産物：地金	金
鉱業管轄官庁	Ministry of Mines, Energy and Rural Electrification
鉱業関連政府機関	Ministry of Commerce, Industries, Labor and Immigration
鉱業法	Mines and Minerals Act 1990 (1996、2008 及び 2014 年に改正) Mines and Minerals Regulation 1996 (1999、2010 及び 2011 年に改正)
ロイヤルティ	有 (Mines and Minerals Act 1990)
外資法	Companies Act 2009 Foreign Investment Act 2005
環境規制法 (環境影響調査制度、 環境・排出基準の有無等)	Environment Act 1998
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	SolGold、Axiom Mining
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、 労働争議、環境問題等)	SMM Solomon 社が国際入札で落札したニッケル鉱区の探鉱権がソロモン諸島政府によって取り消され、豪州のジュニア企業 Axiom Mining 社へ付与された。SMM Solomon 社は処分の取り消しを求める訴訟を提起。2016 年 3 月、上訴裁判所の判決において Axiom KB 社 (Axiom Mining 社の子会社) への鉱区の付与は取り消されたものの SMM Solomon 社の落札取消しの無効化は認められず、2017 年 3 月に同裁判所による判決が確定した。
2017 年のトピックス	2017 年 8 月、住友金属鉱山は上記の訴訟の間のニッケル価格の低迷と今後の市場の予測、上記確定判決、探鉱結果等を総合的に検討した結果、プロジェクトの推進は困難であるとして、プロジェクトからの撤退を決定した。

1. 鉱業一般概況

近年まで、ソロモン諸島で操業を行っていた鉱山は Guadalcanal 島の Gold Ridge 金鉱山のみであった。現在は Rennel 島においてボーキサイトの生産がおこなわれている。また San Jorge 島において Axiom 社がニッケル鉱山の開発工事を実施中であり、2019 年に鉱石の出荷開始が期待されている。

Gold Ridge 鉱山においては Ross Mining 社 (最初のオーナー) が 1998 年に操業を開始したが、部族間紛争が生じ、2000 年 6 月に操業を放棄した。その後、国際競争入札を経て、2005 年 5 月に Australian

Solomons Gold (ASG) 社が権益を獲得、さらに Allied Gold (AG) 社が 2009 年に ASG 社を買収した。AG 社は 2010 年末に同鉱山を再稼働させたが、2012 年 9 月、St Barbara 社に完全買収された。2014 年 4 月、長雨とサイクロンの影響による被害（アクセス道路の寸断、鉱山の安全性確保の困難）により、操業を停止。操業停止中の 2014 年 6 月に不法採掘者が鉱山を占拠した事から、2014 年 8 月 St Barbara 社は操業再開は困難として安全保安要員を除く全従業員を退避させると同時に、同鉱山売却の方針を決定した。2015 年 5 月、St Barbara 社は同鉱山を地元企業 Goldridge Community Investment Ltd. (GCIL) に売却した。その後、2017 年 5 月の段階で Gold Ridge 金鉱山の再稼働に向けて、GCIL 社は中国企業傘下の豪州のデベロッパーである AXF Group 社と共に、地元の土地所有者及び政府関係者との間で協議を実施している。AXF Group 社では 2018 年末までに同鉱山を再稼働させることを計画している。

Axiom 社においては、2018 年 9 月、Isabel Nickel プロジェクトのうち、San Jorge 島の鉱区に関し採掘権を正式に取得したことを発表した。期間は 25 年間であり、これによりニッケル鉱石の採掘・輸出が可能となる。同社は採掘開始に向けた鉱山開発作業や道路・積出施設の建設に既に着手しており、2019 年第 1 四半期に鉱石を初出荷することが期待されている。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 鉱業法の改正

2014 年にソロモン諸島の鉱業法改正が行われ、金、銀、銅、ニッケル、ボーキサイト、鉄鉱石のロイヤルティの見直し（採取時の総価値の 3%）等が行われている。

(2) 地元住民の反対を受けた探鉱権の取り消し

2017 年 7 月の報道によれば Nendo 島において Australian Pacific Bauxite 社が実施する探鉱事業に対し現地の環境保護団体が同事業に対する懸念を示し、また探鉱権の付与も法に従っていないとして探鉱権付与の取消しを求めて政府を相手に訴訟を起こす構えであると報じられた。その後、2018 年 5 月になって政府は Australian Pacific Bauxite 社の活動は地元コミュニティとの合意に基づいた友好関係の構築に失敗しており満足のいくものではないとして、同社に対して探鉱権の取り消しを通知した。なお同社はこれを不服として裁判所に異議申し立てを行っている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

データなし

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出货量

表 3-1. 金属輸出货量

鉱種	2015 年 (千 t)	2016 年 (千 t)	2017 年 (千 t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
アルミニウム ボーキサイト	262.1	234.5	1,559.2	564.9	中国、インド

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(oz)	備考
Gold Ridge	GCIL (100)	金	-	Guadalcanal 島に位置する。2014年4月以降操業停止中。 2017年5月の報道によれば再稼働に向けて、GCIL社が中国企業傘下の豪州のデベロッパである AXF Group 社と共に、地元の土地所有者及び政府関係者との間で協議を実施している。
Rennel	Asia Pacific Investment & Development	ボーキサイト	不明	Renbel 州の Rennel 島に位置する。Asia Pacific Investment & Development 社の子会社の Bintan Mining 社によって操業が行われている。

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト

案件名	権益所有企業(権益%)	鉱種	探鉱段階	場所	備考
Guadalcanal Regional ・ Kuma ・ Mbetilonga	SolGold (100)	銅金	初期	Guadalcanal 島 Honiala 南東 30km	2013年6月、Newmont Mining社と SolGold 社との JV 契約終了。 同鉱区の転石試料から Au 13.5g/t、Cu 11.7%確認。 従前保有していた Lower Koloula 鉱区と Malukuna 鉱区は 2014/2015 年度に放棄。 2017年2月に Mbetilonga 鉱区の探鉱権を申請。同年4月には Kuma 鉱区の探鉱権を申請。
West Guadalcanal	Axiom Mining (100)	金銅	初期	Guadalcanal 島	Taho Prospect におけるトレンチ調査の結果、30m@Au 1.82g/t(3m@Au 14.76g/t を含む)の鉱化帯を確認。2014年、探鉱権を取得。同年中に、1,529m のボーリング調査と空中磁気調査を実施。2017年5月、探鉱権の延長の認可取得。
Isabel Nickel	Axiom Mining (80) Local Landowners (20)	ニッケル コバルト	後期	Santa Isabel 島 南東部及び San Jorge 島	推定資源量 480 万 t (Ni 1.3%、Co 0.08%)。 2016年3月に SMM Solomon 社との国際鉱区入札に係る上訴裁判所の判決の際に Isabel Nickel のうち Santa

					Isabel 島の Kolosori の鉱区の探鉱権が無効とされたことから再度探鉱権を申請し 2018 年 5 月に認可取得。 San Jorge 島の鉱区では 2016 年 9 月から 2,500m のボーリング実施。2017 年 4 月、ボーリングのフェーズ 1 の場所から 500m 南東の地域において Ni 2~3.58% のサブロライトを地表サンプリング。2018 年 9 月に採掘権取得を発表し鉱山の建設に着手し、2019 年第 1 四半期に鉱石を出荷開始予定。
Choiseul East	SMM Solomon (100)	ニッケル	後期	Choiseul 島南東部	Choiseul East は 2012 年まで探鉱実施。2017 年 8 月、SMM Solomon 社の Choiseul East 鉱区からの撤退が発表された。
Santa Isabel East	SMM Solomon (100)	ニッケル	後期	Santa Isabel 島南東部	SMM Solomon 社は Santa Isabel East の国際入札鉱区の落札の取消しに異議を唱えて係争中であったが、2016 年 3 月、上訴裁判所において落札取消しの無効化は認められず 2017 年 8 月、SMM Solomon 社の Santa Isabel 鉱区からの撤退が発表された。
Nendo	Australian Pacific Bauxite (100) (同社は Pacific Bauxite 社が 50% のシェアを持つ Eight South Investments 社 (旧称 AU Capital Mining) の 100% 子会社)	ボーキサイト	初期	Nendo 島 (Temotu 州 Santa Cruz 諸島の島)	2016 年、広範なボーキサイトの鉱化帯を発見 (12km × 2km)。ボーリング調査実施。2018 年 5 月に地域住民との関係悪化等を背景に政府が探鉱権取り消し。Pacific Bauxite はこれを不服として裁判所に異議申し立て中。
South West New Georgia	Australian Pacific Bauxite (100) (同社は Pacific Bauxite 社が 50% のシェアを持つ Eight South Investments 社 (旧称 AU Capital Mining) の 100% 子会社)	ボーキサイト	初期	New Georgia 島	2017 年 8 月に Pacific Bauxite が探鉱権取得 (期間は 3 年間だが 2 年間 × 2 度の延長が可能であり同社は最長 7 年間の維持を期待)。資源量の確定作業、スコーピング調査を実施予定。

(出典：各社 HP)



図 1. 主要鉱山・プロジェクト位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

2010年2月22日、住友金属鉱山(SMM)はソロモン諸島国のニッケル探鉱事業を推進することを目的に、住鉱ソロモン探鉱(Sumiko Solomon Exploration)社を設立。同社は子会社(SMM Solomon社)を通じて、2005年からChoiseul島とSanta Isabel島でニッケルの探鉱活動を行い、2010年12月に既存鉱区に加えて、Santa Isabel島で3鉱区(San Jorge、Takata、Jejevo)の探鉱権を国際競争入札で落札した。しかし、当該3鉱区については2011年4月、ソロモン諸島政府から当該落札権を一方的に取り消され、San JorgeとTakataの2鉱区が国際入札に参加していない豪州の探鉱会社Axiom Mining社の子会社Axiom KB社へ付与された。その後Jejevo鉱区のみがSMM Solomon社に付与された。本件を巡り、SMM Solomon社はソロモン諸島政府およびAxiom KB社等を相手とした処分取り消しを求める訴訟を提起した。2013年10月、ソロモン諸島国の第1審裁判所である高等法院(High Court)で審理が開始されたが、2014年9月SMM Solomon社の請求を棄却する判決が下された。

SMM Solomon社は判決を不服として2014年10月に上訴を行ったが、2016年3月、上訴裁判所の判決においてAxiom KB社への鉱区の付与は取り消されたもののSMM Solomon社の落札取消しの無効化は認められなかった。この上訴裁判所の判決は2017年3月に確定した。

SMM社は、訴訟の間のニッケル価格の低迷と今後の市場の予測、確定判決、探鉱結果等を総合的に検討した結果、プロジェクトの推進は困難であるとして、2017年8月、ソロモン諸島におけるプロジェクトからの撤退を決定した。

7. その他トピックス

・Metallica Minerals 社、Wagina ボーキサイトプロジェクト評価に向けた戦略的融資契約を締結

2018年4月、豪Metallica Minerals社は、ソロモン諸島Waginaボーキサイトプロジェクトの75%の権益を保有するSouth West Pacific Bauxite (SWPB)社と戦略的融資契約を締結すると発表した。Metallica Minerals社がSWPB社に12か月の間12万A\$を融資することにより、Waginaプロジェクトへの参入に向けたデューデリジェンス実施に関する排他的権利を保有することとなるとしている。Waginaプロジェクトは1968年に発見されボーキサイト資源量約30百万tを保有しているとされている。

・Metminco 社、Santa Isabel 島の Jejevo ラテライトニッケルプロジェクトの権益 80%を取得

2018年9月、豪州のMetminco社はSanta Isabel島においてJejevoラテライトNiプロジェクトの権益80%を保有するSunshine Metals社の全株式を取得することを発表した。Sunshine Metals社の子会社化により、Metminco社はJejevoプロジェクトのほか、Choiseul島のTausereボーキサイトプロジェクトの80%権益も保有することとなる。Jejevoプロジェクトはかつて大手企業により探鉱が実施されたラテライトNiのDirect Shipping Oreが可能なプロジェクトであり、10~15百万t程度の資源量、1.1~1.3%程度のNi品位が期待されている。

(2018.9.30 シドニー事務所 山下 宜範)